

2024年2月9日

上場会社名 コンドーテック株式会社
 コード番号 7438 URL <https://www.kondotec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2024年2月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 近藤 勝彦
 (氏名) 矢田 裕之
 TEL 06-6582-8441

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	57,907	2.7	3,626	8.4	3,772	7.9	2,507	11.9
2023年3月期第3四半期	56,367	14.6	3,346	24.8	3,495	24.1	2,241	36.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,534百万円 (17.6%) 2023年3月期第3四半期 2,155百万円 (36.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	98.33	
2023年3月期第3四半期	87.95	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	59,489	34,934	55.3
2023年3月期	58,163	33,285	53.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 32,917百万円 2023年3月期 31,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		17.00		17.00	34.00
2024年3月期		20.00			
2024年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	3.4	4,500	3.3	4,700	3.0	2,900	20.1	113.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	26,344,400 株	2023年3月期	26,344,400 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	810,782 株	2023年3月期	864,922 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	25,503,847 株	2023年3月期3Q	25,482,514 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行するなど、感染拡大防止のための経済社会活動の制限が緩和され、緩やかに回復してまいりました。しかしながら、為替相場の急変動、人件費の上昇、資材価格及びエネルギー価格の高止まりなどにより、景気や企業収益は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、公共投資が底堅く推移しているものの、住宅投資が弱含んでいることに加え、民間設備投資の持ち直しがみられるなど、分野によって濃淡がある状況となっております。

このような状況のもとで、当社グループは、需要が旺盛な分野に注力するとともに、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こし、新商材の拡販などの成長戦略に取り組んでまいりました。

以上の結果、民間設備投資などの需要を取り込むとともに、製造原価や仕入価格上昇分の販売価格への転嫁を進めたことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は57,907百万円（前年同期比2.7%増）と増収になりました。

利益面につきましては、売上総利益率が改善したことに加え、人件費や運賃を中心とする販売費及び一般管理費の増加などを増収効果で吸収したことにより、営業利益は3,626百万円（同8.4%増）、経常利益は3,772百万円（同7.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,507百万円（同11.9%増）と増益になりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<産業資材>

製造原価や仕入価格上昇分の販売価格への転嫁を進めたものの、分野によって需要動向に濃淡があり販売数量が伸び悩んだ結果、当セグメントの売上高は27,953百万円（前年同期比1.3%減）となりました。利益面につきましては、人件費や運賃を中心に販売費及び一般管理費が増加したものの、製造原価や仕入価格上昇分の販売価格への転嫁を進め売上総利益率が改善した結果、セグメント利益は2,029百万円（同12.0%増）となりました。

<鉄構資材>

鉄骨需要は中小物件が停滞する一方で大型物件が好調に推移するなど分野によって濃淡がある中、需要が旺盛な分野に注力したことに加え、製造原価や仕入価格上昇分の販売価格への転嫁を進めた結果、当セグメントの売上高は15,990百万円（前年同期比5.8%増）となりました。利益面につきましては、競合他社との価格競争の激化による売上総利益率の低下に加え、人件費を中心に販売費及び一般管理費が増加した結果、セグメント利益は1,241百万円（同8.4%減）となりました。

<電設資材>

原材料や物流コスト等の費用上昇の影響の他、電線・ケーブル類の品薄状態による仕入単価が上昇傾向にある中、費用に応じた価格設定と太陽光発電設備関連、店舗LED化等カーボンニュートラルに順じた営業展開を推進した結果、当セグメントの売上高は7,391百万円（前年同期比4.7%増）となりました。利益面につきましては、仕入価格上昇分の販売価格への転嫁、仕入価格引下げ交渉の徹底、工事込み案件の取り込み等、売上総利益率を意識した営業展開に努めましたが、人件費や物流コストの増加分を吸収できず、セグメント利益は218百万円（同17.2%減）となりました。

<足場工事>

マンション改修をはじめとする民間建築投資が堅調に推移する中、近年注力している大型物件（非住宅）向け工事売上やレンタル売上が好調に推移した結果、当セグメントの売上高は6,571百万円（前年同期比12.0%増）となりました。利益面につきましては、増収効果や原価上昇分の販売価格への転嫁が進み売上総利益率が改善したことに加え、販売費及び一般管理費が微増にとどまった結果、セグメント利益は154百万円（前年同期はセグメント損失70百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末（58,163百万円）と比較して1,326百万円増加し、59,489百万円となりました。これは、棚卸資産の減少等があったものの、現金及び預金並びに売上債権の増加等を主因として、流動資産が482百万円増加したとともに、のれん等の償却による無形固定資産の減少及び繰延税金資産の減少等があったものの、有形固定資産の増加等を主因として、固定資産が843百万円増加したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末（24,878百万円）と比較して323百万円減少し、24,554百万円となりました。これは、仕入債務、未払法人税等及び賞与引当金の減少等を主因として、流動負債が676百万円減少した一方で、長期リース債務の増加等を主因として、固定負債が353百万円増加したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末（33,285百万円）と比較して1,649百万円増加し、34,934百万円となりました。これは、剰余金の配当943百万円の支払いによる減少等があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益2,507百万円の計上による増加等があったことによります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末（53.8%）比、1.5ポイント改善し55.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想におきましては、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信」の発表時に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,733	11,161
受取手形、売掛金及び契約資産	14,181	13,384
電子記録債権	3,695	5,037
商品及び製品	6,446	6,130
仕掛品	770	792
原材料及び貯蔵品	915	924
その他	670	464
貸倒引当金	△12	△8
流動資産合計	37,402	37,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,664	3,586
土地	9,380	9,737
その他（純額）	2,358	3,202
有形固定資産合計	15,403	16,526
無形固定資産		
のれん	2,883	2,633
その他	1,403	1,452
無形固定資産合計	4,286	4,085
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	110	185
その他	981	829
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	1,070	992
固定資産合計	20,761	21,604
資産合計	58,163	59,489

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,015	4,515
電子記録債務	9,738	9,878
短期借入金	3,610	3,610
1年内返済予定の長期借入金	224	250
未払法人税等	946	465
賞与引当金	878	508
その他	2,216	2,726
流動負債合計	22,630	21,954
固定負債		
長期借入金	512	518
退職給付に係る負債	316	337
その他	1,418	1,744
固定負債合計	2,247	2,600
負債合計	24,878	24,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,666	2,666
資本剰余金	2,434	2,440
利益剰余金	28,472	30,036
自己株式	△893	△837
株主資本合計	32,679	34,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124	114
繰延ヘッジ損益	△11	△35
土地再評価差額金	△1,510	△1,510
為替換算調整勘定	69	92
退職給付に係る調整累計額	△66	△48
その他の包括利益累計額合計	△1,395	△1,388
非支配株主持分	2,000	2,017
純資産合計	33,285	34,934
負債純資産合計	58,163	59,489

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	56,367	57,907
売上原価	44,184	45,014
売上総利益	12,182	12,893
販売費及び一般管理費	8,835	9,266
営業利益	3,346	3,626
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	5	4
仕入割引	101	103
雑収入	56	51
営業外収益合計	163	162
営業外費用		
支払利息	6	10
雑損失	8	5
営業外費用合計	15	16
経常利益	3,495	3,772
特別利益		
固定資産売却益	10	84
投資有価証券売却益	—	34
特別利益合計	10	118
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産除却損	10	13
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	11	15
税金等調整前四半期純利益	3,493	3,875
法人税、住民税及び事業税	1,035	1,186
法人税等調整額	191	162
法人税等合計	1,226	1,348
四半期純利益	2,267	2,526
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,241	2,507

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,267	2,526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△9
繰延ヘッジ損益	△109	△24
為替換算調整勘定	12	23
退職給付に係る調整額	△9	18
その他の包括利益合計	△111	7
四半期包括利益	2,155	2,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,129	2,515
非支配株主に係る四半期包括利益	25	19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注1)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	足場工事	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	28,321	15,116	7,061	5,867	56,367	—	56,367
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	254	68	204	80	608	△608	—
計	28,576	15,184	7,265	5,948	56,975	△608	56,367
セグメント利益又は損失(△)	1,812	1,355	263	△70	3,360	△14	3,346

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△14百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注1)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	足場工事	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	27,953	15,990	7,391	6,571	57,907	—	57,907
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	259	70	181	65	576	△576	—
計	28,213	16,060	7,572	6,636	58,483	△576	57,907
セグメント利益又は損失(△)	2,029	1,241	218	154	3,643	△17	3,626

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△17百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。